

「不登校支援研修会」「病弱教育部 公開授業」

の御参加ありがとうございました。

11月8日、本校で「不登校支援研修会」を実施しました。研修会に先立ち、病弱教育部公開授業を行いました。府内の小中高等学校、特別支援学校教員、福祉関係からも幅広く参加者がありました。

第1部では、病弱教育部の「自立活動の時間」（運動を通してコミュニケーションの力を高めよう）の公開授業に外部から28名の参観がありました。「導入から終了まで、しっかりと組まれたプログラム、具体的指示の中で子どもたちにはわかりやすく、子どもたちが考えながら協力して、生き生きと活動している姿が印象的でした」などの感想が寄せられました。



第2部の「不登校支援研修会」では、外部から51名の参加があり、「不登校中学生の支援の実際～通級指導教室の取組を通して～」をテーマに研修会を行いました。今年度から本校病弱教育部で取り組み始めた通級による指導の事例を通して、発達障害等を背景とした不登校生徒の自己肯定感を上げ、自信をはぐくむ支援の在り方や保護者への支援、医療との連携などについて報告しました。



本校精神科校医の有賀やよい氏からは、医療機関と学校がどう連携し、二次的な障害や保護者支援をどう進めるかについて助言していただきました。

